

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGsの達成を目指し、Mastery for Serviceを体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける5つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会で用いられているAI等のテクノロジーが持つ機能や役割、実例などの基礎的な情報を自分の言葉で説明することができる</li> <li>・簡単なプログラムを使って実際にAIを動かすことができる</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的課題について調べ、AI等のテクノロジー活用した解決方法を提案することができる</li> <li>・AIが人々、社会にとって正しく活用されるための倫理的判断をすることができる</li> <li>・テクノロジーが人間個人、社会に与える影響を考察することが出来る</li> <li>・上記事項について、他者に適切に提示/説明することができる</li> </ul> <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AIや新たな技術開発、イノベーションについてより深く知ろうとし、それを用いて解決しようとする姿勢を持つことが出来る</li> <li>・社会的課題に向き合う中で、AIなどに代表されるテクノロジーと上手に共生する必要があることに気づき、人間の本来の生き方について追求することができる</li> </ul>	
下位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 実際に社会でAIを活用する人を通じて、実践的なAIやテクノロジーの活用に関わる知識を獲得できる</li> <li>② 社会課題解決のため、生徒自身が自分事として課題をとらえ、その課題の原因、課題や対策等の状況を正確に把握することが出来る</li> <li>③ 社会課題解決のため、2年で学んだ知識を基にAIやテクノロジーを活用した具体的な提案をすることが出来る</li> </ol> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① AIを活用した社会課題の解決案について、議論などを通じて他者と協働して創造することができる</li> <li>② AIを活用した社会課題の解決案について、倫理的な判断を加味することができる</li> <li>③ AIを活用した社会課題の解決案について、他者に分かりやすく提示し、他者の考え方や生き方に影響を与えることができる</li> </ol> <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 常に新しいAIや新たな技術開発、イノベーションについて、自発的に調べ知識を追い求めることができる</li> <li>② 社会課題に向き合う中で、AIなどに代表されるテクノロジーと上手に共生する必要があることに気づき、自分の生き方について追求することができる</li> <li>③ 社会課題に向き合うなかで、AIをはじめとするテクノロジーを活用しながら、課題の改善・解決に向けた実践を企画、実行できる</li> </ol>	

授業日	11/26(火)	2 学期授業回数	10 回目 / 全 10 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 本時の具体的な目標 “テクノロジーは人間・社会をどう変えるのか”というテーマのもと、AI を用いての解決策とその実践例を、最終成果発表で報告する		
時間 授業内容	13:15 開始		
	13:15~13:20	説明 講師紹介 住友商事 伊藤 友久氏                      関西学院大学商学部 (株 Winttle) 長田 健吾さん	
	13:21~13:28	発表①【スマホ依存症】	
	13:29~13:31	コメント 1	
	13:31~13:35	コメント 2	
	13:36~13:43	発表②【言語の情報格差】	
	13:44~13:46	コメント 1	
	13:46~13:50	コメント 2	
	13:51~13:58	発表③【アプリアイデアコンテスト】	
	13:59~14:01	コメント 1	
	14:01~14:05	コメント 2	
	14:06~14:13	発表④【年齢の情報格差】	
	14:14~14:16	コメント 1	
	14:16~14:20	コメント 2	
	14:21~14:28	発表⑤【教員への AI 活用】	
	14:29~14:31	コメント 1	
	14:31~14:35	コメント 2	
	14:36~14:43	発表⑥【KG ピッチコンテスト】	
	14:44~14:46	コメント 1	
	14:46~14:50	コメント 2	
		全体講評 住友商事 伊藤 友久氏、三木先生	
	14:50~15:00	講師の方々と交流会	
評価方法	ルーブリック		
宿題指示	3 年生で取り組んだ課題解決のための実践に関して自分なりに下記のことを考える。 課題意識：「テクノロジーと人間・社会」について何を課題とかんじたのか、どこに問題を感じたのか ① 原因と対策：その課題について学んだこと、また何が原因で、どうすれば改善できると考えたか ② 実践の選択：その解決のために、なぜその手段を選択したのか ③ 実践を通して得たこと成果 ④ 実践を通しての反省・課題 上記についてレポートを 11/29 までに Classi に提出		